

第二回 全国OV教員・教育研究シンポジウム

〔OV教員＝JICAボランティア経験を持つ教員〕



(C)JICA/Kenshiro Imamura



(C)JICA/Kenshiro Imamura

「協力隊を日本の文化にする」

テーマ ～途上国経験をSDGs時代の日本の教育に活かす～

日時 2018年 12月23日(日)
10:30～

会場 JICA関西
(兵庫県神戸市中央区
脇浜海岸通1-5-2)
JR「灘」駅徒歩約12分、
阪神「岩屋」駅徒歩約10分



ねらい 途上国での人作り・国作りの経験を日本の教育の中で活かすため、全国の仲間が集い、多文化共生やグローバルといった視点で実践的な交流を行い、教育関係者やこれから派遣される教員に役立つ情報と元気を共有する。

内容
講演：佐藤真久教授(東京都市大学環境学部)
実践発表：OV教員による国際理解教育実践
事前研修：3学期・訓練中・派遣中にできること

主催 全国OV教員・教育研究会、独立行政法人国際協力機構(JICA)

後援 文部科学省、兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会
近畿地方ESD活動支援センター、兵庫県海外子女教育・国際理解教育研究会、
青年海外協力隊兵庫県OB会、兵庫OV教員研究会

参加費 1,000円(資料代として)

その他 弁当持参(周辺にコンビニ、スーパー等あり)



【全国OV教員・教育研究会からのメッセージ】

学校のグローバル化、地域における国際交流の推進、外国人児童生徒への対応強化など、様々な課題に直面している学校現場において、教員のグローバル化も強く求められています。それは、単に語学ができる、海外で生活したことがあるということではなく、異なる立場の考え方や少数の立場を理解しつつ、物事を多面的にとらえ、臨機応変に対応できるような理解力・受容力・実践力も重要となります。

海外協力隊は、文化・言語・考え方等が全く異なる途上国において、現地のの人々と一緒に様々な課題の解決に取り組みますが、自分がマイノリティの立場になり、失敗や挫折も重ねながら、人々と協働した経験は、自身の成長・成熟にもつながることになります。今、こうした経験をもった教員が、培った理解力や受容力、実践力を教育現場で活かしています。

全国OV教員・教育研究会は、そんな教員が世界で、日本で生き生きと活躍できるよう、一人ひとりの想いや経験を共有する場を作り、学校・教育委員会・地域社会・市民団体等とのネットワークを強化しながら、実践的な教育を実現することを目的に活動しています。

途上国経験を日本の教育に活かし、子どもも大人も社会も元気に！ そして自分も元気に！

【講演】「途上国経験をSDGs時代の日本の教育に活かす」

現在直面しているグローバルで複雑な問題に対し、急速に変化するこれからの時代の中で、持続可能な開発目標とはどんな特徴を持つのか。青年海外協力隊現職派遣教員の調査研究をもとに、協力隊の経験を通じて、教員はどのような資質・能力を磨くことができるのか、また学校現場でどのように活用できるのか。

SDGs時代の日本の教育に途上国経験を活かすことについて考える。

講演者：佐藤真久（東京都市大学大学院環境情報研究科教授、ESD円卓会議委員、国連大学サステナビリティ高等研究所（UNU-IAS）客員教授、政策立案者向けガイドライン策定委員（UNESCO APCEIU）等を兼務）



【実践発表】

エチオピアの小学校で勤務した際、日本の小中学校とインターネットを介して3度交流会を開きました。日本の中学校で理科教諭として勤務されている先輩隊員の実験授業の様子を現地の理科教員や生徒たちに紹介。その取組について報告させていただきます。



発表者：大里修史
茨城県中学校理科教諭、エチオピア理科教師OV

【派遣地域・職種別研修】

海外協力隊OVが、派遣された国や地域の様子、活動の実際だけでなく、現地でしか得られないリアルな情報や自らの変化についてもお話しします。

昨年は、参加者から多くの質問が出て大盛況で、時間が足りませんでした。

今回は時間を拡大して実施します！

プログラム

時間	内容
10:00	受付開始
10:30	開会
11:00	講演 佐藤真久（東京都市大学環境学部教授）
13:00	実践発表 大里修史（茨城県中学校教諭）
13:45	事前研修①3学期・訓練中・派遣中にできること
14:30	事前研修②派遣地域・職種別研修
17:00	総括・閉会
17:40	交流会

【3学期・訓練中・派遣中にできること】

日本語でもなかなかうまく伝えられない、でも言葉を尽くして話すことはできる。自由自在に操れない外国語での社会人・職業人としての隊員生活。その始まりは「あなただれ？」「何しに来た？」自分を知ってもらうために3学期と訓練期間にできることを考えましょう。



発表者：前原美和
元兵庫県芦屋市中学校教諭、ニカラグア青少年活動OV、マレーシア特別支援教育OV

申し込み方法：申込用紙に記入し、メールまたはFAXで申込み

申し込み先：JICA青年海外協力隊事務局 参加促進課・人材育成課 手続き担当

TEL 03-5226-3513

FAX 03-5226-6379

E-mail jvttp_gs@jica.go.jp

「第2回 全国OV教員・教育研究シンポジウム」 参加申込書

開催日：2018年12月23日（日）

場所：JICA 関西（国際協力機構 関西センター）

〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2 Tel：(078) 261-0341（代）

フリガナ 名前：	性別：	生年月日：
TEL：	E-mail：	
職業：	所属先：	
現住所（市区町村まで）：		
隊次：	派遣国：	職種：
協力隊候補生、協力隊OB、教師海外研修経験者は、JICA 関西の宿泊施設（2,695円／泊）の利用が可能です。宿泊 を希望する方は、右の宿泊希望日に○をご記入ください。 詳細は、追ってご連絡いたします。		22日（土）
		23日（日）

※申し込みの一次締め切りは、可能な限り参加者の派遣国や職種に対応した事前研修とするため、**11月30日（金）**としますが、それ以降の参加も受け付けております。ご都合のつく方は、是非ご参加ください。

送付先：JICA 青年海外協力隊事務局 参加促進課・人材育成課

担当者：丹治 宏樹／中山 かおり

住所：〒102-8012 東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル

TEL：03-5226-3513（課代表）／FAX：03-5226-6379

E-mail：jvtpg_gs@jica.go.jp